Vol. 32 No. 9223 Thursday September 9 1937 TAIRIKU NIPPO 昭和十二年九月九日(木曜日)第九千二百廿三號

大陸日報
TAIRIKU NIPPO
(THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO CHA, LTD.
213 & 215 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, B. C.
本紙定價(前金)
壹ヵ月七拾五仙
六ヵ月四弗貳拾五仙
壹ヵ年八弗貳拾五仙
發行所 大陸日報社
社長 山崎馨
晩香坡市東ガド
電話ダ五五三三

紙はり
バウエル街三四六
電話ツリニティー二八九エル
小林(清明堂持)

滿洲國で鐵鑛資源の開發
銑鐵五百萬噸鋼材三百萬噸
五ヶ年後に生産實現を圖る

東京九日——滿洲に於ける鐵鑛、銅鑛、五ヶ年度十一萬噸、五ヶ年度六萬噸、五ヶ年度四萬噸、鋼材三百萬噸を生産する方針のもとに新時代の滿洲國の開發は時局の發展と共に益々その急に要する事となつたが、八日入京の松岡滿鐵總裁は、滿洲國政府並に滿鐵の必要が次第に認められ昭和製鋼所を中心に滿洲國政府並に滿鐵方面でも協議し具體的立案をなすこゝとなり、鞍山、本溪湖、東邊道等の全滿鐵關係の鑛谷的開發を近く中央に提出され、それに依ると全滿を通じ向後五ヶ年後には銑鐵五百萬噸、鋼材三百萬噸、五ヶ年度六萬噸、五ヶ年度四萬噸、其他五萬噸と全滿谷地の開發は時局の發展と共に益々その急に要する方針のもとに新時代の滿洲國の開發の進展に依りその全面的開發の進展に依りその解決形態も一元的に統一する

支那事變と米國の中立法

米國が今度の日支事變に對してはルーズヴェルト大統領の宣言にもあるように、國務長官時代のスチムソン國務長官時代のそれとは全く異つた態度を採つてゐる。

一、武器輸出の禁止

一、合衆國大統領は日支戰國及び內戰國への武器の輸送を禁止する

一、交戰團體に對する公債發行及び融資の禁止

一、合衆國市民が交戰團體の船舶によつて旅行することの不安戰國に注意を拂つて通商する合衆國商船の武裝を禁止する

一、交戰團體が合衆國商品を購入するに當つて現金拂を要求する規定の適用には合衆國大統領に自由裁量權を賦與する

等の點をあつて行動限度は、ケ年一九三九年五月、日支事變に關する米國の態度は、日支事變に對して、武器輸出を禁止する。

米國は元來西半球を除く外國の戰亂に對して中立を守ることを常例としてゐる、歐洲大戰の時もウイルソン大統領は中立を宣言した、これは孤立主義に終つたが、この孤立主義は、第一次世界大戰中、その驚天動地に米國がこれに巻き入れられる事のないやうにとの目的で決定された、これが中立法の最初である、續いてフランス內亂が起つた、これに對して最初は交戰國のみを內戰國にもこの法律を適用した、これが現行の中立法である、これは交戰團體の平常品購入に對して現金拂を要求し自國輸送を禁止する、米國から買ふ油、機械、小麦等は米國から買ふ

「米は米屋へ」

●各種製箱業
御注文に應じ如何樣にも製作致します

東ヘスチングス街六四九
電話パイランド八八九エル

指物　家大工
精巧家具製作

榮養、佳味
百パーセントの蒸カス饅頭
■純日本式　アンパン

酒銘

お酒召すなら「白鹿を」
香味醇良　後ぐ朗らか

播陽灘西ノ宮市
辰馬本家酒造株式會社
（此廣告は政府酒類管理局やビーシー州政府で掲載又は發表したものではありません）

資本金一億圓
設備完備
釀石高最多

東京より

（一）

東京特信

東京支社　礁波生

（八月廿八日）

日支戰の新局面

日支戰の新局面は、全面的衝突、日本國民の憤激と愛國心の高揚は尤も千萬である。

◇

支那は或ひは長期戰術を以て一撃だに爲る限り日本は困るだらうと考へるやうだが武器の輸出を禁止した結果、米國の關する限り日本は困らせないが支那を困らせるといふ事に於ては、同樣に日本を支援することになつて、武器輸出の禁止は、日本が一日本國民が憤激するのを、米國が紛糾にまき込まれないことなのだからといふところに重點をおいて合衆國政府の態度も決定されねばなるまい、中立法が發動されゝば支那に不利なことは前記の如くであるが發動されず日本が沿岸封鎖を實行すると此の支那の利益は事實上なくなる、またかういふ場合中立法を發動させてゐかぬと米國が抗議にまき込まれるおそれがあるなることも米國政府は考へ

上海の大和撫子

雄々し祖國愛の殘留

第一戰をかけ巡る 藝妓やダンサー

―人妻も娘も身を挺し 健げな『陣中内助』

（上海十九日發）機關銃の音絶えめぐらした北部小學校を訪問した芸妓達の話は、戦ひ切つて乎り込みである、ダンス・ピアノの上に日の丸のかけらが飛ぶやうにコンクリートは崩れて床一面に散乱してゐる、敵の空襲でやられたものだ、校舎西側の四階の一角にポカリとコンクリートが口をあけてゐる、北側陣地の教室に集る百世人位の女子供が避難してゐる床の上にアンペラを敷いて皆のみ音の絶えて寂である、その顔も高粱の如く疲労で土色だ

しめて出つ上海領出に逃げ出した、十五日夕方から方からこのアパートに其彈は落ちなかつたけれどもこの凄かつたわ、仲間は隨分歸つたけれども私は何かお役に立ちたいと武官室に代りして雑用をしてゐます。

『明手はかりでは困るでせう』と

若い 女性達が奮然と

して頑張り時局柔い面喰はしてゐる、中でも日本人倶樂部の食堂の女給仕、本田みつ子さん（四）鶴岡ゆう子さん（三）原田みさ子さん（二）外二名は十七日夜の敵軍の砲撃を受け身をもつてのがれたが、

『私達はどんな危險があつても殘ります、でなければこの人手の少いのに御國のために働く方々に誰がお茶一つ差上げるの』

と祖國愛に燃えた瞳をかがやかす

大人 も歸國せず

しエプロン姿雄々しく働いてゐる小學校教員をしてゐる某氏の

『夫が日本人倶樂部で働くなら私は傷病兵の看護婦になります』

と健氣にも白い看護服を身に着け病院に出かけ働くなどさすが大和撫子だ、かうした胸を打つ話は數知れない、更にダンサー、踊子に至るまで支那の空襲、野砲機關銃の射撃に憤激して身を捨て第一線にかけめぐつて銃後の勤めをしてゐるのは

愛國 心のはつらつ

の鳴なのだ、遊離して人なき家から主を失つた犬が日本人側に食物を求めてやつて來る、アッパッパを着た日本人婦人はこの可愛さうな犬にやさしい心遣ひを忘れず殘つた食物を與へると犬は狂喜して尾を振つてゐる光景がまたも記者らの胸をつ

六日間激戰でわが居留民の犠牲は死傷數十名しかなかつたが全く銃後の人達のこの一致した

崇高の念さへわく、十三日から

第七回世界教育會議の開ける黄浜で重大使命を果した世界聯合教育會長ポウル・モンロー博士（上）と去る十二日横濱出帆の際の博士夫妻

繃帶に包む 雪だるまの顔

慰問の言葉も出ない

（1）吉川英治氏の天津通信

こゝへ來て、何とむざなりな慰問の言葉をあらう。二つの眼だけをあけて、顔も全身も雪達磨のやうに繃帶でつゝまれた傷、凝と坐つてゐる兵もある。多い部屋は一室に三、四十人もゐてゐる。私は、民團長や軍病院の人々と、覚束なく慄りながら、たゞそつと、黙禮して各室を通つてゆくに過ぎない。稀々、雑誌や新聞を通して、私の顔をよく知つてゐる兵隊が、むくりと起きて、何か話したさうにこつちを向く。誰かゞ吉川さんだと喝くと、不審さうに私に向けてゐた無數の伽藍の眼が、ニッと笑みを送つて、あつちの隅からも、こつちの隅からも、ありがたう、ありがたうありがたう、といふ。

弱いかすかな聲がある。また元氣な聲もある。痛いのをこらへながらの聲もある。

病床の今はさも、いつしよに左つて自分が見離れたやうに禮をいふ。私のさゝいな氣もちの、むしろ邪魔になりはしないかと恐れてゐたくらゐな訪問が、こんなに喜んでもらへたのは望外であつた

五ノ井隊長

も一室のベッドに横たはつてゐた。

むかけなさいと、隊長は私へベッドの端をすゝめていふ。南洋以來のマバラ髭が伸びてゐるこの人がと思はれるほど柔和な風貌の持主である。負傷した個所は下腹部で敵の手榴彈の彈片でやられました、と、腹部の繃帶をかるく抑へて、まばらな髭の中でうすく笑ふ。私も罹病の腸に當てゐる懐嵐の熱さをふと思ひだす。窓外の雨の木にも、雨に似た葉音はなく蟬の聲がたゞ耳をふさぐ。

後方勤務を 慨嘆する兵

深夜――憂々とアスファルトが鳴るのを聞く。かつて、東京なぞでは聞いたこともない轟きだ。窓を排してみると、すぐ旅館の前の繁街を、たくさんな軍馬が通つてゆくのである。軍服がみな汚れてゐない。どこかの家の窓から、突然、子供の聲でバンザイとさけぶ。深夜の辻々で、鋼のやうにこんぞは男女の聲で同じ歓聲がおこる。

長い馬蹄のひゞきが止むと、居留民街はまた元の深夜に回る。――起された前よりもざらに深々と安らかな夢に回る。かういふ眠りの感謝は日本にあてはわからない。

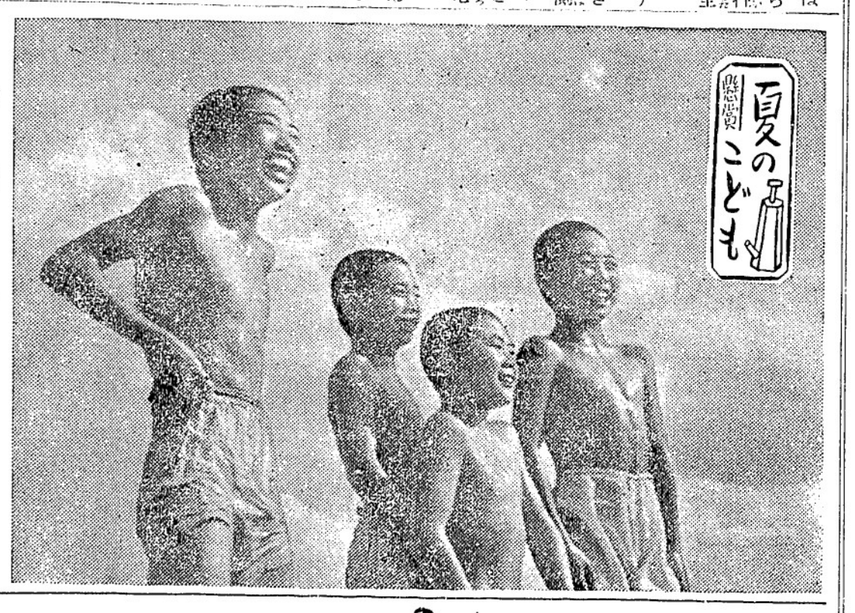
○

ゆうべ着いた隊は、あしたはもうぎこへ立つたかわからないそんな隊を送んでゐる兵士もあるとみえ

けふ會つた

大藏省出張員の毛利氏が、軍司令部の使所でひろつたある兵隊の手紙を何氣なく見たら、こんなことがかいてあつたので、便所のなかで眼が熱くなつたと話してゐた。

――今年は田舎も天津みたいに熱いのですか。ぼくはずつと軍司令部の歩哨勤務してるので、彈にもあたらないけれど、うちのお婆さんがぼくが今年はあないので、七十二にもなつて草とりをやらつしやつてゐると思ふと、前線へ出てゆく隊がうらやましくてしかたがない。留守のおばあさんのはうが、ぼくよりゆらからうと思つて、歩哨してゐるのは、おばあさんに濟まない氣がしてしかたがないのであります……（略意）――終り



今週はユニオンのスペッシアル

◈ココア　一鑵　二十四仙
◈ウナギ　二鑵　二十五仙
◈ジャミ　一鑵　三十五仙
◈ピース　同　九仙
◈棒石ケン　二本　四十五仙
◈キセス　二斤　二十五仙
◈キャンデー取交　二斤　二十五仙

晩市パウエル街四五七　電話ハイ三三五―三三六

ユニオン魚店

目下大評判のセーフファーペン

○セーフファーペンの特長
書きよい
丈夫で
体裁が好い
一本のペンで二種に
太くも細くも書ける

何誰も先づセーフファーペンをお試し下さい

*Reg. U. S. Pat. Off.

モンブラン

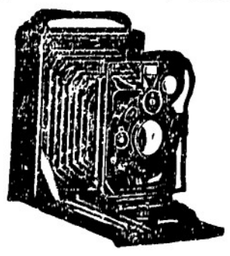
色を白くする
蘇鐵の成分

藤本醫學博士が蘇鐵を科學的に研究して得たるヴィタミン（シーメ）を一種の植物ホルモンの綜合劑でシミ、ソバカス、色黑の内服藥として賞用されて居ます
全然副作用なく然も健康を増進し二三ヶ月で別人の如く色白く美しくなる理想の美顔藥であります

定價　二、〇〇

帝國理化學研究所創製
理研レバー　二、〇〇
お乳不足で御困りの方は是非お試し下さい
榮養學最高權威が苦心御製の貴重藥です

お乳の藥



フイルム現像燒付引伸
晩市パウエル街三三一
新見商會
電話ダグラス三一一二

陸軍への獻金
一千百三十五万圓
内火艇や飛行機も獻納

東京九日――事変発生以来既に三ヶ月、銃後の熱誠は日増しに高まり、陸軍への献金は大阪市の日本紡績株式会社、輸出組合聯合会から十万五千圓、日本人絹糸部輸出組合聯合会から十万五千圓、日本毛織輸出組合聯合会から三万五千圓、東京貿易組合聯合会から二万五千圓、大阪市の大日本紡績株式会社から五万圓、ハワイ在留邦人から第三回分として邦貨二千六百五十二圓五十錢、米貨六百八十九弗八十七仙の送金があり同日一日だけの合計六十六万千五百圓に達し八月末までの累計は遂に二千百三十五万七千百八十二圓十錢、内物約十六万七千圓の巨額に上つた、尚陸軍省は新聞社、通信社、放送局並に貴族院議員金子直吉氏から寄託された五十万圓を陸軍省に献納した

◇

今回の金額は、愛國の結晶たる浪花魂が滴々として一線に英霊に捧げられ、海の護りを盤石の如くなしめんとする、国民の熱誠を物語るものである

◇

東京九日――八月の劇場街は「軍事劇」を沸き立つてゐるがこの明るいお芝居の演出の方法から眺めてみるとなかなかもしろい、用意といへば実に乏しくこれ日本男子だ、忠勇の赤心に明るくない、たぎる熱血がその演出に秀れた舞台効果を生むのである、こんなハリキリ方だから軍事劇上演と云ふ出現は「空前絶後」といふ事になるとは、今度の「上海陸戦隊」を上演した大阪歌舞伎座の新國劇でもキストラも「日本人でないと出ないつらでやつと十人ばかりの保安隊員が出来た、壮烈な戦の演出に花火を使つて効果をあげる、一発五錢乃至十錢の花火代は上海安藤五郎から五百圓、一部は地雷破裂音に使つて少し凝つた

軍事劇裏ばなし
『敵兵』は高給
花火代が七百圓也

支那派遣隊はいない、キストラを募集したが、そこでは「日本人でないと出ない、困り抜いて第一線の「敵兵」を演ずるのは「外人」といふ決死的特別出演料を支拂つて、「敵兵」の役を演ずるのは「外人」といふ決死的特別出演料を支拂つて、「敵兵」の役を演ずるのは「外人」ばかりの保安隊員が出来た、壮烈な戦の演出に花火を使つて効果をあげる、一発五錢乃至十錢の花火代は上海安藤五郎から五百圓、それに地雷破裂音に使つて少し凝つた

殘るは一片の肉塊
北支山岳戰に華と散りし
長尾鬼隊長の最期

東京九日――北支山岳戦の華と散り、大行連山（河北省とチャハル省境を劃し高さ長城が連山に沿ふてゐる、南口、居庸關等は大行連山の北端附近に當る）の中でも「一際聳える山頂に「長尾山」の名を不朽に止て故長尾中尉の遺骨が最愛の部下の手に捧持されて前線より涙の凱旋をなしたが、その遺骨にまつはる物語が初めて明かにされた、此の物語こそ陸と海と異る年代とそれは「南洋中佐のそれにも比すべき悲壮言語に絶するものである

◇

八月廿五日、隊の総攻撃により長尾山附近一帯の高地に日章旗（へるや最後まで長尾山を死守し敗日に耳り飲まず食はず而も多くは傷ついた長尾部隊の兵士が先づ執つたのは故隊長の遺骨捜索であつた、傷の手当も飯をしのぐことも彼等の念頭にはなかつた、只だ日頃敬愛する隊長の先途を見届め遺骨を発見することだけだつた

◇

捜索は先づ長尾山の峰から始め五百メートルの高地に向けて谷合の一つの若砂、一つの叢も忽ちにせず隊長の姿を求めては必死の捜索を続けて行つた、だが廿五日の夜は空しく暮れた廿六日も朝早くから捜索は始められた、食ふものは只固パン飲むものは泥水だけだ、廿六日も虚しく暮れ廿八日は四日目だ、勇士達は悲壮に落胆しなかつた、午後二時ようやくその一人の勇士が歓呼を揚げた、遂に遺骨を発見したのだ

◇

半頂山と五〇〇高地との谷合の岩陰にこんもり茂つた叢の中にそれは納ふ方なき隊長の戦帽だつた

斬つけた勇士等は発見した喜びと隊長の死を確認した悲しさに手をとり合つて泣いた、附近の叢、砲弾の穴まで探した、併し発見されたのは隊長の皮ゲートルとその裏にベットリついた肉片だけだつた敵弾に吹き飛ばされた鬼隊長の遺骨はこれだけだつたのだ

◇

斯くてその皮ゲートルと共に殘した一片の肉、そして中尉愛用の戦帽が部下勇士の涙のうちに茶毘に附され白木の箱に納められ日も漸く暮れる頃部下の胸に抱かれながら山を降りたのだ

天狗倶樂部
本年の規定

天狗倶樂部は昨夜左の新規定を決定

（一）何貫一弗として十月十五日限納入する事（期限後は無効）

（二）漁期締切十二月廿一日

（三）魚の寸法は四分ノ一時刻みとし八分ノ一時は切捨

（四）ニコメキ、サーペンチン支流は有効とす

昨夜の野球戰

昨夜のシニア・リーグ決勝第四回戦はエーキューが十二對十でアスレチックを破り連勝、目下エーキュー三勝、アスレチック一勝である、試合は非常に荒れ雨霰打四本もあつた、エーキューの投手は常勝のセール、アス軍はストレート

エーキュー〇一〇一〇三一〇五＝一三
アスレチク〇〇〇四〇〇二〇〇＝一〇

プロ野球戰

昨夜コンジョンス球場に於る晩香坡對ウエナチのプロ野球戰はウエナチが四對二で勝ち前夜の辱を雪いだ、今夜も八時から同所で両軍試合

ウエナチ　〇二〇〇〇〇〇一〇＝四
晩香坡　〇〇一〇〇一〇〇〇＝二

晩香坡の新規定
五時半閉店法
警察法廷でオーケー

既報の如く市内グランビル街の金物屋さんステアマンが晩市新規定午後五時半閉店法を無視し試験の形式で警察法廷に判決を待つてゐたが昨日に至りマセソン判事から晩香坡市の商店は閉めに關する市規定は合法的と認む、よつて被告は罰金五弗を言渡す

予としては只同法は制定と實施間の間に時日をかさず直に實施せる點が不服なるも同法は市の權限内なる事は疑に認む

判決を下した、被告は或は上の裁判に上告するかも知れぬ

中野春雄君傷死
ファニーベーで

カンバーランド第一號地に在住の廣島縣佐伯郡小方村出身中野春次郎氏二男春雄君（二）は一昨日ファニー・ベー花月キャンプで就働中負傷即死した、同君の告別式は本日午後四時カンバーランドで行はれた

同家は昨年春次郎氏妻女キネ今夕五時半からバウエル球場で

事變漫談
山本倫由

支那空軍の威力といふものはトカク戦前には、輕業の本場だけに大いに飛ぶべしと取沙汰されてゐたものだが、いざ鎌倉の場合上が展開すると、三十六法の奥の術を出すはかりで曖昧もないが、それでも以前の上海事變當時からみると雲泥の相違だ。何しろ以前の事變では、支那空軍の中に唯一機だけ頻りに抵抗するのがあるので、如何なる豪傑ならんと撃破すると、金髪碧眼の中尉殿が墜ちて來たなどといふ挿話もあるが、この度は痩せても枯れてもシンサンばかり墜ちてくるのである。

△

支那の空軍が茲まで發達したのは、例の航空奬券のお庇を大分に蒙つてゐるのであるが、その航空奬券といふのは、一至二十五萬弗とかの御をつけた富籤で、こいつを上海あたりにゐる日本人は勿論のこと、日本から旅行して行く名士が押すな押すなで買つたといふことだから、支那空軍には日本人が大いに獻金したといふことにもなる。

△

北村小松氏や中村正常氏あたりが買つた話は嘗て御本人達が旅行記に書いてゐたが、楊樹浦といふ中華民氏の手記の中に、矢崎彈氏が航空券を買つて上海の測字攤即ち賢卜者先生に占つて貰つたことを書いてゐる。空軍を富籤で作るところも、道に馬鹿票の本家だけに旨いものだが、兎に角國民のあれやこれやの臍繰を捲きあげて一千機ばかりの飛行機を作つた筈だが、今では常國空軍の活躍に依つて殘り惨くなつたことであらう。

△

さて支那の海軍はといふと、御立派の樂は大抵「冗談ぢやない支那と海軍があるか」とくるおやろ。左程微々たるものだが支那にも海軍は確かにゐわす。陳紹寛上將だの、陳季良中將だのチン妙な提督がズラリと雁首を並べて御座つて、四千三百噸ばかりの大巡洋艦も一隻持つてゐるし、二千七八百噸級三隻、千九百噸級二隻、其他タッグ・ボートに毛の生えたやうなのを十數あまり持つてゐるが、その中に小型快速水雷艇の最新式なのが二隻ばかりあつて、過般わが出雲艦を二度も三度も沈没せしめたことは上海電報の報じたことであつた。

殘るは一片の肉塊
北支山岳戰に華と散りし
長尾鬼隊長の最期

長の皮ゲートルとその裏にベットリついた肉片だけだつた敵弾に吹き飛ばされた鬼隊長の遺骨はこれだけだつたのだ

◇

斯くてその皮ゲートルと共に殘した一片の肉、そして中尉愛用の戦帽が部下勇士の涙のうちに茶毘に附され白木の箱に納められ日も漸く暮れる頃部下の胸に抱かれながら山を降りたのだ

朝日こ全星軍
今夕試合

今夕五時半からバウエル球場で

キャンビー橋
片道通行

當市キャンビー橋は修繕の爲め來週あたりから十日間左の如く通行制限

朝日とコンマーシアル・リーグ全星軍が負傷選手援助の慈善試合を興行する、メリット・ゴードン軍の捕手が怪我して困つてゐるらしい

支那事變ニュース
飛行機に依る…

上海先施公司、カセイ・ホテルの爆撃
逃げ惑ふ數万の市民
其他 飛行機で急送された最初の支那事變ニュース
―外に最近ヒットの名映畫二つ―

明金曜日より封切

ビーコン劇場

△橋の北向り通行は昼夜とも通行止めとす
△南向け通行は朝の五時から午前十一時まで通行止め

◇健康相談 明晩八時より九時半迄日本人健康相談所（東ベンダー街四七四）で無料診斷を行ふ

◉出産 平井兵四郎氏夫人は今朝男子分娩母子共に健全

◇視力増進、老眼若返、健腦特効、保健新劑
◈エモチン（内服）一、五〇
老衰者及一般弱眼の視力を増し肝熱を去り血脈を通じ筋肉を潤ほし頭痛めまい小兒風癇驚悸、便通滯へ精力を増す
水虫にボンホリン、胎毒、くさ湿しんにドクトル膏 三〇 五〇
△寫眞機フイルム
△現像燒付引伸し
△ソタマン万年筆
△文房具小間物類
文化商會

萬能良藥
榮養と治療の二つの作用
◎わかもと
（錠劑）（粉劑）
◇家庭療藥の一切は
常に新しく・極安く
御用命に應じて居ります
優良品の最廉賣
香村商店
バウエル街二六九　電話ドグラス九二

晩香坡市パウエル街二六八
大勉強
杉山運送會
舊天野運送
電話ダグラス三〇五九

Manufacturers Life
マニュファクチャラース生命保險
晩市ゴーア街二〇三　電話ダグ二八三
信夫保險事務所
ステヴストン　平山一郎
ウッドファイバー　織田實

御子樣の貯蓄心涵養のため
御嬢樣の結婚費用意のため
他日事業の資金に當てるため
來るべき老境の準備のため
御家族の生活安定保證のため
世界廿二ケ國に支店を有し最も堅實なる當會社に加入なさる事を御勸め致します

日本行各汽船切符販賣
日本郵船、シービーアール、アメリカンライン
▲再渡航證明、移民官手續、妻子及使用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等届書、加奈陀政府出生届手續
▲歸化證にて當國旅券下附及妻子呼寄手續、其他一般代理
晩香坡市パウエル街一三五
中山義一事務所
電話ドグラス三九四
住宅ハイ二〇七アール

御斷り
毎度難有う存じます
扨て、弊店儀今回增築致しますに付いては工事の都合上竣工迄、一時東隣りを借用致しまして御用命に應じ度いと存じます
工事中は色々不自由を相掛けます事と存じますが暫くの間御辛抱下さいまして從前通り御引立下さる樣御願ひ申上ます
バウエル街二六九　電話シー五二一八…五二一九
良品廉價の前川商店

造船及修繕
日發デーゼルエンジン總代理
御●料●理
●ピアノ教授
經驗は豐富　教授は親切
電話ツリニテー九六八アール
アレキンダー街五八
電話ハイランド二五九八エキス
松岡久枝
●クラウン生命保險會社●
不動産賣買
各種保險代理
晩市ローヂヤス・ビル八二二
神戸業　水原事務所

上海戰線の要圖
（日本軍の上海戰線の總攻撃位置は前のものに記入した）

我が陸海軍の航空隊今日も大爆撃を續行

飯田部隊長が戰死し上海東部戰線の我軍甲合戰

敵のトーチカと散兵壕を奪取

上海九日――上海東部戰線に任つて敗日來の激戰に參加してゐた飯田部隊長は昨日部隊の先頭に立つて奮戰中一彈飛び來つて胸を貫き名譽の戰死を遂げた、飯田部隊は直に奮戰の下に今朝來軍は路交點の敵トーチカに向つて攻撃開始した、我が海軍機に依る爆撃海空よりの掩護砲撃の下に部隊長の指揮の下に攻撃の先鋒を勇進し敵陣に突入激戰の後午後四時頃トーチカ及附近の散兵壕を奪取した

上海にて電○艦隊報道部本日午前十時發表――我が航空隊は東淀線、滬杭甬線に對し爆撃を行ひ松江（上海西南方約三十哩）其他（上海西方約四十哩）等の敵軍後線に徹底的打撃を加へたり

海軍航空隊○○機は九日午前七時半頃編隊飛行を行ひつつ上海の周圍を悠々旋回、東部戰線の敵陣並に瀏河（上海北方十七哩）より○○廟へかけて敵根據地に爆撃を加（又上海南端の支那人町南市上空へ現れた一隊は多數の傳單を撒布した（本日の英字紙には爆彈を投下したとあり）

上海支那陣を吾空軍大爆撃

けふも陸軍機は出動　海軍機も負けず活躍

八日午後五時半陸軍○○機は嫩爽たる銀翼を多陽に輝かせつゝ戰線上空に勇姿を現し地上部隊の歡呼を受け引揚げて一路○○部隊の前線に向ひ機銃（上海北方十哩）の面に集結中の敵に對し前後三回に亘り爆撃を敢行した（後略）我が軍艦の勇力なるサーチライトの方向指導に從つて目的物を爆撃して居るといふ

本日も午後四時四十分頃わが空軍○○機は軍上路（上海北方十哩）附近上空に現れ、敵陣地に對し猛烈なる爆撃を加へた上、浦東の敵陣地を空襲猛撃を加へた

我が海軍航空隊の被害二十二機

支那側百九十四機墜落はウソ

日本機六十一機墜落はウソ

我が海軍省の調査に依れば開戰以來、九月九日に至る我海軍航空隊の被害は行方不明機を合せて總計廿二機で、之に對し支那空軍は我が爆撃砲撃に依つて總計百九十四機を撃滅してゐるに拘らず上海の新聞には去る八月十四日から丗一日までの十八日間に於ける空中戰闘に於て支那空軍が日本軍重爆撃機廿九機、軽爆撃機廿四機、戰闘機五機、水上機三機合計六十一機を撃墜したとの虚報を大々的に發表掲載せしめてゐる、斯る逆宣傳は支那政府の常套手段ではあるが如何に

（上圖）昨日の武運長久を祈る長谷川司令官夫人（右から三人目）（下）支那戰線に出動する我が赤十字女軍

外電の報ずる上海の日支戰

日本軍も苦戰と見る　月浦鎮まだ陷落せず

日本陸軍は本日新手が吳淞方面に上陸した模樣である、日本の陸軍運送船は先週來揚子江に在つたが本日日本軍の掩護砲撃と支那軍猛砲撃の裡に上陸敢行して成功したけふ日本側は陸海空軍の協力猛攻撃が行はれたが上海東部北部の支那軍は大体元地位を保持してゐる、日本軍は上海北方六哩の江湾方面を猛襲した、日本軍は上海北方十餘哩の羅店鎮と寶山線を聯絡する戰法に出たらしいが本日は失敗した、其の中間にある月浦鎮（獅子林の西）はまだ支那軍の手に保有されてゐるからだ、羅店鎮では支那軍が逆襲を試みたが全く失敗した、日本機三機は南市を爆撃した

上海戰線の日本軍は約七萬五千と見られるが支那軍十五萬に對する大攻撃も中々苦戰の中に行はれ支那軍の抵抗は全なほ豫想外に強硬である

支那が揚子江を封鎖

今度は支那側が揚子江を封鎖し南京下流シルバー島（上海の上流約百七十哩）の所に古船やジャンクに石砂を積んで沈めて日本軍艦の來襲を防ぐことになつた

北支戰線だより

我軍益々進撃

天鎮、南壕塹占領

東京九日――陸軍省に到達した情報は次の通り

（一）平綏線沿線（チャハル方面）――我が軍は九月七日綏遠に天鎮（張家口の西南約二十里）を占領、又別に其の北方地區にある我が部隊は九月六日南壕塹（張家口西方約十八里）を占領し各方面の敵に多大の損害を與へた

（二）内蒙方面――内蒙に進入せる支那軍に對する内蒙軍の攻撃は有利に進捗、九月八日張北西方約五十キロ（約十二里半）の大清溝付近を占領してゐた約二千の支那軍を撃破之を西方に潰走せしめた、又德化付近に進出してゐた支那軍も蒙古軍の襲撃を受け商都方面に退却した模樣

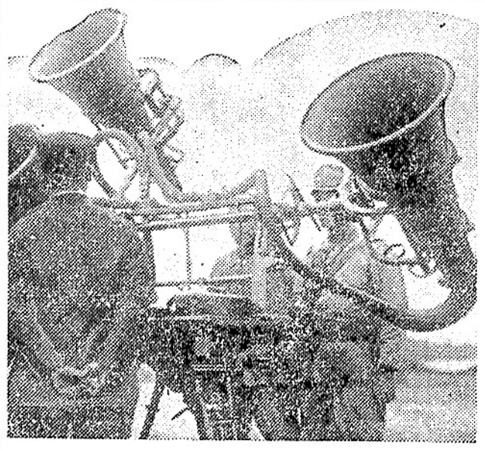
北支の豪雨

なほ止まず　河川氾濫

天津九日――連日北支を襲つて居た豪雨も止み最近時々晴間を見せてゐたが河南省方面一帶は八月中旬以來尚は止まず黄河を初め各河川は氾濫、堤防は決潰し農作物及村落は殆んど水に掩はれ全省の電話電信線は切斷され交通連絡杜絶、隴海線の一河南（洛陽）方面も水量愈々増加し歐亞航空の鄭州驛も一面の泥海と化し中央軍の北支に對する軍事輸送も不可能で第一線將士は全く後方聯絡を斷たれてしまつた

天津南方馬廠の戰線

天津九日――馬廠の敵根據地を正面より攻撃する我が部隊は九日午前九時敵の最前線の馬廠河より僅八百メートル手前の朝官屯部落に○○を移して愈馬廠攻撃の態勢を整へた、一方敵は馬廠河の堅固なる防禦陣地及び馬廠河鐵橋付近より自下我に對し猛烈なる銃砲火を浴びせつゝあり彼我の銃砲聲は嶽である



敵來襲に備へ日本各地分けても西部日本の主要都市の空防を重厳にすべく防空聽音機

日本軍四千名全滅説

本日の外電には北支山岳戰で日本軍四千名は追撃中支那軍の伏兵に包圍され機關銃で悉くやられたとの報道があつたと傳へてゐる、眞偽は判らぬ、日本軍の負傷兵數千は陸續と後方へ運ばれ司令部は新手の陸軍を急送しつゝありとある、場所は北平西方の山岳地帶らしいと

又もアモイ砲撃

厦門九日――日本軍艦及び海軍機は本日二時間に亘り厦門を爆撃した、在住外國人は急遽の穴の中に逃げ込み難を避けた

支那空軍根據地奥地西安に移る

ロシアの教官指導

東京九日――九日到達せる情報に依れば支那空軍は最近其根據地を陝西省の西安（北平から西南六百哩、上海の西北八百五十哩）へ移した模樣で同地には十數名のソビエット教官が指導に當つてゐると言はれる、然してソ聯が支那側に供給せる軍用機の大多數は米國製飛行機であると云はれるが更に最近ソ聯から百臺の貨物自動車が西安へ到着したと傳へらる

共産軍の改編

東京襲撃と廣言

南京對岸で暴徒

上海九日――南京國防政府の直接支配下として共産軍を國民革命軍第八路軍に改編したことが八日初めて明瞭となつた、右は西安より上海へ到着した朱德及び彭德懷の宣言書により判明したものである、

懷は「吾人は茲に赤軍の改編を終了したので近く東京に向つて進撃し吾人が忠誠を捧つた蔣委員長の指揮下に國家民族に對する奉仕を尽すであらう」と述べて居る

◇

上海九日――揚子江下流方面では最近に於ける無幾なる微發、物資の缺乏並に强制勞役の結果人心の不安を激成し所々に民衆騒動の勃發を傳へられてゐたが、南京對岸の揚州飛行場も去る五日以來敗回に亘り暴徒の襲撃を蒙り多大の損害を受けたもの〻如く支那當局は斯かる後方に於ける民衆の反政府的擾亂行爲の頻發に悩からず狼狽してゐる

◇

昨夜支那機一機は暗に乘じて黄浦江上の日本艦を襲撃したが爆彈は六百呎も目的物を外れて河の中へ落ちた

◇

上海に於ける我空軍は今後軍用列車を片つ端しから爆撃する事になつたので外人旅行者は前以て日本軍に通知しろと發表した

◇

南支油頭で支那軍は來襲の日本機三機を撃墜し一機を破損せしめたと德国傳を公表してゐる

◇

寶山縣城を守つてゐた敵兵は中央軍のもので一人殘らず殺されたと支那側は云つてゐる、右は蔣介石直屬兵であつた

東へステング街壹貳　渡邊糸子
●電話フェアモント五五四三
電話フェヤ六二六三エル　言原登代

久岡文治
●ヂョーヂヤ街一九六九
電話ツリニチー四七〇二

●レキサンダー街三六二
電話　ダグラス　七二三

ATCM　仲靜枝
●晩市メーン街一九一
電話ツリニチー五九〇エル

日本訪問　船切符取扱

電話ダグラス五一〇一＝五一〇二
住宅　ハイランド三七

◎今回日本人タキシ業者は全部（メーター）に依つて料金を申受ける事に致しました
晩市日本人タキシ

名畑タキシ
ハイランド七六五

オーケータキシー
西第二街一六七七
電話ベエヒユ八三三エル

シヨワタキシー
シーモア二八八七
バウエル街二六一

高田タキシー
電話（ドグラス八三六 シーモア三757）

ヤマタキシー
電話シー（一四一四 1415）

晩市バウエル街三八一
曾我運送
電話ダグ四七八八アール

結婚及葬式用花類
バウエル街二七〇
中村花屋
電話シー五九三五

○土地家屋、ルーミングハウス
○各種商店プレス屋等見込ある場所に安價な賣物譲渡あり
○火災自動車盜難保險
晩市バウエル街壹壹四
一般公認代理業
奥村事務所
電話シー二八壹貳
住宅ハイ三〇六三アール

モーターミシンに十名
至急に求む仕事は年中あります
東へステング街三六九
メードウエル裁縫工場
電話ドグラス五〇七七

結婚の寫眞には特に優雅にして温調を有する高級アセナ紙を使用
運轉手入用　ヤマタキシ

日本の御土産には親、親戚集合、逆の肖像をお勸めす、古寫眞からでも拔取り立派に仕上げます
東へステングス街一一二（ローヤル座から數軒下）
村上寫眞館
エンプレス・スタヂオ
電話シー七七四五
自宅フェア三六二七エル

自宅　電話變更
ハイランド　一五四八
公認　宮崎醫院
事務所東へステングス街一九三
電話シーモア六一六八

越
バウエル街二三八
運送業
電話シー三五二八

移轉通知
今回キャンビー街二三三七へ移轉、店を擴張、ストックを豊富に取揃へました
新古、ドアー、ウインドー、プラミング一切
新しきサイヂング及シップラップ一等千一呎八弗
其他木材、シングル一等一切
晩市キャンビー街二三三七

バラード古物商
電話フェアモント二三〇一

Singer Sewing Machine Co.
393 Powell St.　Shop Phone Sey. 1931L
本社は日本人各位の御便利の爲め各種ミシンをバウエル街シップに取揃へて居ります
新ミシン取換へ並に古ミシン求めの方は是非當店に御用命下さい
附屬品一切も取そろへてあります
マネジヤー　鶴田收藏
電話シー一九三三
バウエル街三九三
自宅ツリニチ九七一エル

裁縫　婦人數名至急入用　バウエル街三三六　新小田

求　上流白人家庭働き二名至急入用　本社營業部照會

求　グロサリー配達ボーイ至急入用　本社營業部照會

貸　ルーム二室納きケッチン附　ダンバー、十六街角

賣　カメラ三ケ月使用スーパーイコンタ・テッサー一二八　本社營業部照會

求　ハウスホークガール働きよい家十五弗電ケリス一〇八

求　ハウスホーク娘　ケリスデール二〇二

法律事務所
エツチ・ヤング
ドミニオン・バンク建物内一〇〇九號室
電話シーモア二七八七
（日本語を話します）

親族
故定吉儀本日葬送の際は御多忙中御會葬賜はり有難く厚く御礼申上候
福井縣人故田村三藏儀本日葬送の際は御多忙中御會葬賜はり有難く厚く御礼申上候
中林　中本　濱田　村尾　野亀　林太郎
中津勘之助　芳太郎　留吉郎　次郎　雄　次郎　三女　四女
長男　次男　三女
中田　濱田　森西　前田　同
北　濱　芳　千代八　定吉
竹藏　常吉　廣次郎　清重　鶴吉　雄
吉田　次郎　千代子　千代子　ノ
九月九日
友人代表　橋本倉之助

花
花束花輪
一切の御用は是非當店へ
晩市西第四街二三五六（キチラノ圖書館前）
イーノー花屋
佐々木菊三郎
電話ベーエル七八八一

金魚
御小賣

地獄マンガ　島田啓三

淫ちゃん豆日記（5）

新小説

時代の影

竹田敏彦

（102）

〔前二の娘（一）〕

日曜日であつたが、澤山な大小の嬰が、黒い顔が活氣を叫いを、大空の雲に擲がつて遊んでゐた。

夏彦は、心に、純粋な愚直な、一生懸命に、夏彦に向つて、一生懸命に、夏彦の脳は、次第に力強く鮮明になつた。

「仕事に打ち込むといふ方法もあるぞ——」

彼は心にはつきりと囁いた。

「さあい、當分は一人でゆつくりと考へよう——」

うつふのうちに、與へられるであらうものが與へられる筈だ。

座の中からいろいろな理想が、夏彦の歩調に基づいた、清冷の情緒の家に歸り着いた。

夏彦は、ぼんやり窓外に眼を放つた。

日曜日であつたが、澤山な大小の嬰が、黒い顔が活氣を叫いを、大空の雲に擲がつてゐた。

夏彦は、心に、純粋な愚直な、一生懸命に、夏彦に向つて、一生懸命に、夏彦の脳は、次第に力強く鮮明になつた。

「仕事に打ち込むといふ方法もあるぞ——」

彼は心にはつきりと囁いた。

「さあい、當分は一人でゆつくりと考へよう——」

うつふのうちに、與へられるであらうものが與へられる筈だ。

座の中からいろいろな理想が、夏彦の歩調に基づいた、清冷の情緒の家に歸り着いた。

夏彦は、ぼんやり窓外に眼を放つた。

日曜日であつたが、澤山な大小の嬰が、黒い顔が活氣を叫いを、大空の雲に擲がつてゐた。

夏彦は、心に、純粋な愚直な、一生懸命に、夏彦に向つて、一生懸命に、夏彦の脳は、次第に力強く鮮明になつた。

「仕事に打ち込むといふ方法もあるぞ——」

彼は心にはつきりと囁いた。

「さあい、當分は一人でゆつくりと考へよう——」

うつふのうちに、與へられるであらうものが與へられる筈だ。

座の中からいろいろな理想が、夏彦の歩調に基づいた、清冷の情緒の家に歸り着いた。

夏彦は、ぼんやり窓外に眼を放つた。

日曜日であつたが、澤山な大小の嬰が、黒い顔が活氣を叫いを、大空の雲に擲がつてゐた。

夏彦は、心に、純粋な愚直な、一生懸命に、夏彦に向つて、一生懸命に、夏彦の脳は、次第に力強く鮮明になつた。

「仕事に打ち込むといふ方法もあるぞ——」

彼は心にはつきりと囁いた。

「さあい、當分は一人でゆつくりと考へよう——」

うつふのうちに、與へられるであらうものが與へられる筈だ。

座の中からいろいろな理想が、夏彦の歩調に基づいた、清冷の情緒の家に歸り着いた。

夏彦は、ぼんやり窓外に眼を放つた。

日曜日であつたが、澤山な大小の嬰が、黒い顔が活氣を叫いを、大空の雲に擲がつてゐた。

夏彦は、心に、純粋な愚直な、一生懸命に、夏彦に向つて、一生懸命に、夏彦の脳は、次第に力強く鮮明になつた。

「仕事に打ち込むといふ方法もあるぞ——」

彼は心にはつきりと囁いた。

「さあい、當分は一人でゆつくりと考へよう——」

うつふのうちに、與へられるであらうものが與へられる筈だ。

座の中からいろいろな理想が、夏彦の歩調に基づいた、清冷の情緒の家に歸り着いた。

夏彦は、ぼんやり窓外に眼を放つた。

日曜日であつたが、澤山な大小の嬰が、黒い顔が活氣を叫いを、大空の雲に擲がつてゐた。

夏彦は、心に、純粋な愚直な、一生懸命に、夏彦に向つて、一生懸命に、夏彦の脳は、次第に力強く鮮明になつた。

「仕事に打ち込むといふ方法もあるぞ——」

彼は心にはつきりと囁いた。

「さあい、當分は一人でゆつくりと考へよう——」

うつふのうちに、與へられるであらうものが與へられる筈だ。

座の中からいろいろな理想が、夏彦の歩調に基づいた、清冷の情緒の家に歸り着いた。

夏彦は、ぼんやり窓外に眼を放つた。

日曜日であつたが、澤山な大小の嬰が、黒い顔が活氣を叫いを、大空の雲に擲がつてゐた。

夏彦は、心に、純粋な愚直な、一生懸命に、夏彦に向つて、一生懸命に、夏彦の脳は、次第に力強く鮮明になつた。

「仕事に打ち込むといふ方法もあるぞ——」

彼は心にはつきりと囁いた。

「さあい、當分は一人でゆつくりと考へよう——」

うつふのうちに、與へられるであらうものが與へられる筈だ。

座の中からいろいろな理想が、夏彦の歩調に基づいた、清冷の情緒の家に歸り着いた。

夏彦は、ぼんやり窓外に眼を放つた。

日曜日であつたが、澤山な大小の嬰が、黒い顔が活氣を叫いを、大空の雲に擲がつてゐた。

夏彦は、心に、純粋な愚直な、一生懸命に、夏彦に向つて、一生懸命に、夏彦の脳は、次第に力強く鮮明になつた。

「仕事に打ち込むといふ方法もあるぞ——」

彼は心にはつきりと囁いた。

「さあい、當分は一人でゆつくりと考へよう——」

うつふのうちに、與へられるであらうものが與へられる筈だ。

座の中からいろいろな理想が、夏彦の歩調に基づいた、清冷の情緒の家に歸り着いた。

夏彦は、ぼんやり窓外に眼を放つ

相洋お菓子一切
豊富に取揃へて
ございます
バウエル街三五七
鈴木菓子店
電話シー七九三五

月刊雑誌

KLEEREX
皮膚病にクリアレッキス療法
雖症のできもの、腫もの其他一切の皮膚病特効藥
クリアレッキス
五十仙　一弗　二弗
地方よりの御注文は早速送りします
Powell Drug Co.
399 Powell St.
Vancouver, B. C.

醫士
林弼臣廣告
專門　捧骨、打撲傷、斬傷、腫物、筋痛、るいれき、痔漏火傷脱腸、血便、殊に打撲關節の痛み等は如何なる重症と雖根治、猶接骨の技術に就ては既に日本人各位御熟知の事に候
東ベンダー街九二　電話シーモア二四九一

長男重信儀過日高い處より墜落し右腕骨を折り林醫士にお願した所二週間にて全治し感謝して居ます若し骨を折つたりクジイたり又スヂの痛む人は林醫士の診察をお勧め致します
ステヴストン金物商　電話九一
秋本重貞

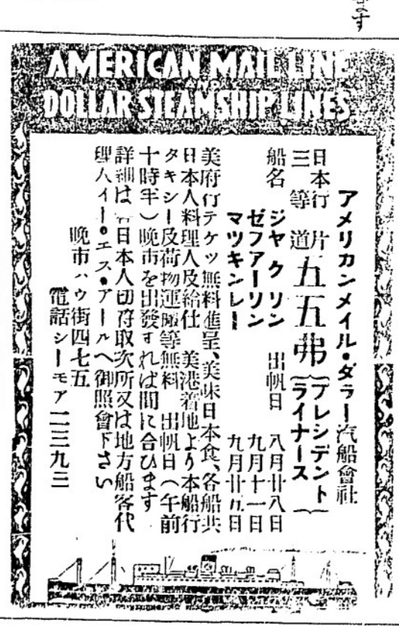
私儀神經痛にて非常に困つて居りました處今回林氏の治療を受け五六回にて全治感謝して居ります
若し折骨打撲又は神經痛等の場合同醫師をお勧め致します
イーバン
小森松之助

小生次男叔和高所より落ち左上腕骨を折骨いたし困難致し居りました處林醫士の治療を受りてより三週間キにて快治致しました、茲に同醫士の技術を推稱し感謝の意を表するべ第であります
マーボール、セカール街八八六四　松宮善七

今回ステヴストン日本人各位の御便宜と御經濟を考へまして接骨、筋違其他一般外科治療御希望の方は秋本金物店迄お申込下されば何時にても同店まで旅費無料にて出張し晩市と同樣の費用にて治療に應じますから同所まで御申込下さい
醫士林弼臣

カステラ
カフイー
晩市バウエル街三九二
住よし

先祖傳來
名灸骨接筋違
男女諸病一切及び子供のかんの灸並に慢性胃腸病、婦人病、つわり
晩市プリンセス街二四一
電話ハイランド三〇四二
鎌倉

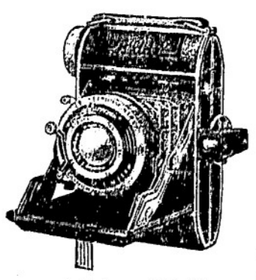


アメリカンメイル・ダラー汽船會社
日本行三等片道五五弗（プレシデント）（ライナース）
船名　ジャクソン　出帆日　八月廿八日
ゼファーソン　九月十一日
マッキンレー　九月廿五日
美府行テケット無料進呈、美味日本食、各船共日本人料理人及給仕、美港着地より本船行タキシー及荷物運賃等無料、出帆日（午前十時半）晩市を出發すれば間に合ひます
詳細は「日本人切符取次所又は地方船客代理人イー・エス・アール」へ御照會下さい
晩市バウ街四七五
電話シーモア二三九三

他に類の無い　美味滋養の
「ロバートソン」ブレード
ちゃんとスライスになつて居るのもあります
あなたの最寄りの店でお求め下さい
キングスウエー街三六六五
ロバートソン・ベーカリー・リミテッド
電話ハイランド二一七一

▲皆さん漬物の御用意は出來ましたか▼
●茄子　大小色々
●白菜、水菜、新菊
●キャベツ　五斤　十仙
●コーン　一打　廿五仙、三十仙
●トメト　三斤　十仙、五仙
□今週に限り漬物用キューリ
一俵　壹弗
●新着櫻干　十五仙
晩市バウェル街三九四
ニュー　フイッシ　マーケット
新魚市場
電話ツリニチー二九九六

SILVER FIZZ
London Dry GIN
Now IN THE NEW FLAT BOTTLE
12oz. 90¢
25oz. $1.75
40oz. $2.60
ロンドンドライジン
一杯の
シルバーフイズ
は陶酔と活力を生む！
ポケット入の新壜に御注意
十二オンス　九十仙
廿五オンス　一弗七十五仙
四十オンス　二弗六十仙
此廣告は州政府又は酒類管理局から發表したのではありません



晩市バウエル街三九〇　電話シー三八三一
近藤特許賣藥店
O KONDO 390 Powell St. Vancouver, B.C.

蛭酒
養命酒　德用瓶　三弗五十仙
同上　大瓶　二弗六十五仙
同上　試用　一弗三十五仙
まむしの黑燒　一匹　二弗五十仙
精力絶倫を希ふ人士よ
何はむいても先づ試みられよ一匹のまむしを！
胃腸病、肺病、ろくまく其他身心衰弱に之れ以上の强壯劑なしとは昔からの定說

組用
柳板
御希望のサイズを安價にて御求めに應じます
其他板各種
パウエル
薪炭會社
製材部
バウエル街一三五五
電話ハイ四五六七四五六八
夜間ハイ一四四四ブール

子供が良くなる講談社の繪本
一冊三十仙（送料共）
大笑漫畫集　漫畫博覽會
曾我兄弟　岩見重太郎
桃太郎　四十七士
牛若丸　宮本武藏　乘物づくし
S.UCHIDA
内田書籍店
電話シー四二三〇
347 Powell Street, Vancouver, B. C.

秋は病氣の多い時　油斷大敵！
應急の御手當に御藥の御用意遊ばせ
●風邪は萬病の源　妙藥は
五龍圓、晋効散、ヘブリン散、ヘブリン丸、キナビリン、五香
咳止め用に淺田飴を御服用遊ばせ
●强健な胃腸は健康の基　特効藥は
太田胃散、富士胃散、熊膽丸、篠原胃腸丸
赤玉神教丸、千振り、通利丸
●漢方藥の權威　中山かせ藥　中山胃腸藥
中山治肺藥　中山壯蠣湯（强壯劑）　中山蓄膿症藥
其他小兒用藥、婦人病藥、强壯劑各種取扱へて御座います
良品をれ安く
古屋藥店
バウエル街一〇九
電話シーモア二九三三

運

《278》

三上於菟吉作
齋藤五百枝畫

（十四）主僧（その六）

湯殿左ものの上を、日頃の鍛錬が物を言ふ時は、一度ひたしたからには、心が欲くまで後へはひかない。

見るも、すつかりと目論みがきら、ぶい、顔れが、年々ふる上やうに目をわいて、血をはどく乗らしつけてあると同様、奴僕たちには、新しい年も、古い年も、何の順ひもの変りもない、何の順ひもの変りもない、現代からの五奴僕といふものの左の方。そして、與へられる代が増ゆるといふことは、一年に一度をどろか、どんな、それ左ぶいことは、目左いの方。そのくせ、何かといふと、騒がくれられ、食べ物を減らされ、蹴られ——それ左ことで敷が減つても、すぐに先左補充はつけられる。敷が減るのは、人間の群から消えることだ。

そんな左、人めつかひも受け入れ者だ。人間の群があるのが、出だ左に思はれるけれども、単獨で目を活してゐるのには、知で人別が左く、無群ものの場合も多くあるが、一束にして奴隷は、ふだんの財産であるから、敷は減らない。

本間さの財産は、奴婢帳の面に書いても、彼等の僧が、時間をかけて、ぢくぢくさせて、痩せ細つて、ぶくぶくぶくぶくと、ぶくぶくぶくぶくと、ぶくぶくぶくぶくと

支那抗房將校の懷に意外日本藝者の寫眞

忽然し若い程抗日に燃ゆ

◇

【上海通信】八月廿四日發—上海の市街戦で我軍に殺傷された敵軍の屍に對して頑強な抵抗を示してゐる八十七、八十八師の支那兵は、いはば將校の命をうけた戦意全等の訓練軍で、つまりわれの戦術を經驗遊らでやつてくれ一つようがすーといつた調子で、約が放立した支那式の戦術は、從來の一つである戦法が如何に根本的に誤つてゐるか、二十一日の戦闘經過で我海軍武官の發表によると支那軍の戦死者は概略二萬三千で、殺傷の約三分の一、これも最新鋭では少しく大きい見積つて二萬人と傳へてゐる、いづれにしても日本は敵出たが大半左の如く殺傷に散在攻撃的態度に出てゐる將校保安隊の抗日意識が如何に根強いかを證明する一つの材料がある

去る十六日の戦闘で我戦略本部附近の新公園に落下傘を用ひてゐる八十七、八十八師の支那兵は勇敢にも逃走しようとした支那將校は日本軍の追撃の手を逃れるため着陸直後に落下傘の紐を切断して遂に逃走を計つたが不運にも抽へられた、本天目身中央航空隊第六期生間海文二といふ少佐將校、撃墜のマスコットが矢張り日本の藝者の寫眞で、どこでどうして知りたれ程までの關係があるのかわからないが、若い士官だから日本女に多分の魅力を感じたといふのものらしいが、その寫眞の裏にある文字が何んと一生懸命撃ちまくれといふ四文字だ、抗日の一つの標語として日本語といふ文字を具体的に示して餘りあるものがつた解釋をすると藝者に振られて然もそれがうらめしくもあるといふ意味深くしみ込んだが、益々しかりたものらしいから抗戦

感激の花 非常時に競ふ

應召者らの美談數々

萬歳！萬歳！歓呼の嵐に送られて家を後に肉親に忘れて前線一線へ進んだ勇士、一死報國の弾丸たちへ後顧の憂ひを抱かせるなと、送るもの、送られるものが渾然と祖國愛の一つに結び合つて、そこに涙せず、中には絶望のあまり自殺を企てんとしたものもあるといふ有様、その真剣な愛國の至誠に心打たれた部隊當局でも遂に動かされ再考を行つた結果、召者のうち健康上の理由から即日歸郷を命ぜられたものが三十名のつたが『竹となつて歸る門外は家の敷居はまたげません』とこれら三十名の應召者は發奮して三十名の應召者は勇躍して乗りこんだまゝ動かうとせず、中には絶望のあまり自殺を企てんとしたものもあるといふ有様、その真剣な愛國の至誠に心打たれた部隊當局でも遂に動かされ再考を行つた結果、

かつたやうだが、抗日意識の横溢してゐることは前の上海事變當時の十九路軍でこゝろやない散々に敗北した十九路軍の狀況を見て民族意識に燃ゆ『祖國を救ふ』熱にかられたのが當時少年時代のヤング・ジェネレーションである、少年時代より培はれた意識が今回發火點に達したものだといへよう、だから保安隊の將校は二十歳前後のものは實に力ッチリと意識を把握して了度明治維新當時の我志士どもいふべき氣概を持つてゐる

やつとうち三名だけを採用したといふ感激美談がある

再度の審査にも遂に不合格となつた二十七名のうち五名は打揃つて堺聯隊區司令部を訪れそれ〴〵餞別金をスッカリ投げ出して一名五圓あて國防獻金し部員を感激させた

特志の人々

層袋運送については名畑運送よりも無料取扱を申出た、御陣日田口輸製造所とあつたのは日田製紙所の間違ひであると日會から云つて來た

南洋の日本熱

素晴らしい

門司九日—南洋海運のちやりぼん丸はジャワから直行、九日門司に入港したが、船長西田熊治氏は南洋方面の日本熱につき次の如く語つた

ジャワ、スマトラなどの東印度諸島には在留する支那人は數においては大勢力を有してゐるが、支那事變が發生するやオランダ政府は極度に神經を尖らせ、支那人の煽動家の侵入を防ぎなどし在留邦人を保護してゐるが、面白い事には上海事變以來支那の誇大宣傳にこりてゐる爲今度は支那人自身さへ日本の新聞を歓迎し、日本からのレヂオ放送に耳を傾けてゐる、從つて一般の日本熱は素晴らしいもので日本人は大威張りの形だ

大新聞が見たい

陣中・俳人將校と語る

（上海にて木村毅）八月二十三日午前陸戦隊本部に大川内司令官を訪ねた『こちらから猛烈にやるので敵も參つたやうだ、攻めよせて來る敵師團が交代したよ』との話なので『どうしてそれがわかります』と聞いて見たら『ナーニ敵の屍体を收容したからわかつたのさ』と、次いで防空塔の上で空の第一線を眺めをうち落すことすでに四つ『潰し去る敵機か細し雲の峰』

川本少佐と話した、少佐は號を『栖山』と呼ぶ雲母派の俳人である、最近祖國の俳友に『驟發の待機のゴ[illegible]明けやすき』と詠んで送ると『涼しさの生遅期さぬ暁かも』と返して來たのでまた一句を酬ひた、また同隊に來遊せし敵機

空爆初の人柱

岩井海軍少佐と安大尉

（東京通信）八月十五日豪雨を縫うて敵の○○飛行場の空襲に參加し折柄の暴風雨と敵の猛烈な銃砲火を冒して有効なる爆撃を敢行した後行方不明となつたのは○○飛行隊長海軍少佐岩井甫男（三五）氏の搭乗機及び○○分隊長海軍大尉安仙三（二十）氏の○○機で二十四日海軍省から發表された

岩井少佐は明治三十六年九月三日和歌山縣海草郡四箇村大字有本に生れ大正十二年七月兵學校卒業、十三年十二月少尉に任せられ累進して昭和十一年十二月少佐となり○○飛行隊長として活躍し我空爆の最初の犠牲となつたもので現

さ、火災の家を片つけてゐると火の下から優しい子供のランドセルが現はれたり可愛い人形の髪の燒けたのが出て來たりして暗然とした氣持になつたこともあつた、ダンサーのかと思ふやうな華やかなべッドを掘り出したこともある

敵の飛行機は爆弾がそろ〳〵不足してきたと見て近頃は死弾ばかりを落してゐる、これは被害はないものだが黄燐だから白いあわを吹く、それを浴びたお陰で軍服が真白になつた

なは少佐は絵も書く、見せてもらつたがなか〳〵うまい、今度新聞に出すため一枚もらふことを約束してわかれた

コモックス公民學校

母姉會總會

（カンバランド通信）コモックス區公民學校母姉會は去る八月廿日午後一時より公民學校々舎に於て第十一回定期總會を開催、横本夫人の開會の辞、小林先生の挨拶、議長に小林夫人を選定、會務報告横木夫人、會計報告山本夫人何れも異議なく承認、次いで種々協議をなし役員を選擇の結果次の諸夫人を決定した

△會長　小原△副會長　加賀△幹事　横本△會計　山本△編集役　河口、塚本

以上終つて横本夫人の閉會の辞あつて四時半散會した

入江マエスさん盛大な葬儀

（エドモントン通信）當地在住の和歌山縣人入江廉吉氏妻女マエ（四）さんは病氣療養中であつたが、去る八月廿九日死亡、葬儀は一日執行されたが在留邦

住所は和歌山市松島町にある安大尉は茨城縣那珂郡中野村大字中根に生れ昭和三年三月兵學校卒業、四年十一月少尉に任せられ六年十二月中尉、九年十一月大尉に昇進した

◇——[illegible]人及多數の白人が參列、冊餘の花輪、自動車も冊餘臺以上で當地方稀に見る盛大な葬儀であつた、因に同女は廉吉氏及二男三女を殘してある

□——八面雜組——□

◇——昨日英國政府は閣議を開いたが、駐支大使貴任代の日本の回答問題よりも歐洲の騒擾が議題の中心

◇——上海で支那軍の官僚の犠牲となつた米國ブリンストン大學教授ラインシャー博士は日米親善に貢獻した人だつたので國際文化振興會で同博士記念奨學金を設け近く留學生を招く事になつた。

金、土大安賣

九月九日、十日

パイナップル（上）	一罐 一五
干ブドー	一箱 一六
ローストピーナッツ	一斤 三五
トメトジュース	一罐 三五
マカロニ	一斤 一五
洗粉（ソップフレキス）	一箱 一四
チョコレートカバー	一斤 二九
ビスケット	一打 二六
手巾	三
パター	一斤 三六

すべての品物を安も廉價にて願ひます

電話を御利用下さい

迅速配達

良い品を常に安くお願する同胞唯一のグロセテリヤ

松宮食料品店

バウエル街二〇五

電話シー三五九七

DOMINION LIFE
ASSURANCE CO.

新時代には新時代に相應しい保險

生命保險には……本社獨特のペンション附保險

貯蓄及び老後のため……ペンション、ボンド

子女教育のため……教育保險

新婚の方々には……夫婦保險

ドミニオン生命保險會社へ

晩市マリーンビルディング第十八階

大内雄

電話シーモア九三七〇

バンクーバー三七七五X

Nippon's Debutantes Do Not Enjoy Elaborate Coming Out Parties

By I. H. HATAI

A Nichi-bei Article Condensed

Quite contrary to life led by the debutante of the West, girls belonging to the upper strata of society in Japan do not enjoy coming-out parties to meet and become acquainted with the right people. Instead, the debutante of Japan, upon graduating from school, enters a period of serious study of the accomplishments that are considered essential to people of her station. And because social and home life in Japan is now a peculiar mixture of the East and the West, she must master the etiquette and social accomplishments of both cultures, whereas her Western sister need concentrate on only one set of requirements.

So the "Ojosan" must study the piano as well as the samisen or koto and be able to sing not only the songs of her own country, but those of the West. In the culinary art, she must be able to cook both native and foreign dishes for the time has passed when a wife could get by with knowing only the dishes of her own country. And in housekeeping, too, it is the same because her future home may be a combination of Japanese and foreign style of architecture.

Talking with parents I have heard complaints that the rising feminine generation of Japan is becoming too westernized and is inclined to neglect or even refuse to learn the accomplishments so dear to their parents. But on looking around me, I found that this is not the case. The "Ojosan" may wear copies of the latest Paris creations and enjoy going to Christmas eve and New Year's dances at the big hotels. She may sing the latest song hits from Broadway and prefer foreign movie stars, but she is still first of all a Japanese with a deep appreciation of the customs, the social and cultural accomplishments and the etiquette of her people.

Because of the many subjects an "Ojosan" has to master before she becomes a bride, her life is arranged according to a schedule. She has far less recreation than the girls of the West. Usually she must go three times a week to her samisen and nagauta teacher's home for instruction. She, however, seems to look forward to these lessons, for they give her an opportunity to meet her friends and make new acquaintances. While waiting for her turn, she enjoys chatting with the rest of the students and exchanging tasty bits of gossip. New members are introduced and in this way she is able to enlarge her circle of acquaintances.

There are other types of singing besides the nagauta, such as Gidayu, Tokiwazu, Tomimoto, and Kiyomoto, but nagauta is the most popular with the young debutantes. Since it is impossible to study the nagauta without the accompaniment of the samisen, the uta teacher is an accomplished samisen player as well. Usually the samisen and nagauta teachers are men, but there are also many accomplished women teachers, among whom Rokushizu Baba is one of the outstanding.

Just as each pupil wishes to become a "Natori" (to receive a name from the master for merit), so she wishes to have the best instrument possible. An expensive instrument costs well over a thousand yen, but usually the pupils buy instruments ranging in price from two hundred to five hundred yen. Practice samisens cost from forty to one hundred yen, while the ivory pick costs anywhere from fifteen to thirty yen. Whenever a good samisen is bought, the master is always the first to play it, the initial use in his hands is believed to improve the tone quality. Also, a special name for the instrument, given by the teacher, increases its value beyon destination.

Among the "Ojosans" are many talented pupils, and teachers often regret to hear of their marriages, for it means the discontinuance of their lessons. In many cases, however, the husband shows enough interest to encourage his wife to go on. She then entertains her husband and family at private recitals, and if daughters are born, she teaches them the art from an early age. Thus, there is little danger that Japanese art and culture will die out, though there are incessant complaints that the "Ojosan" of today is becoming too westernized.

New Westminster Honors Miss Tait

NEW WESTMINSTER—The C.G.I.T. group was out in full force last night to join in the welcome given by the church to Miss DeWolfe's successor, Miss Tait. The social was also in honor of Mr. Yamazaki, former Sunday School principal.

Miss Tait comes with many years of experience in her chosen career. She left a teaching position in Nova Scotia in 1916 to go as a missionary to Japan and during her 12-years' stay, mastered the Japanese language. She speaks it with amazing fluency.

Upon her return to Canada, she was a United Church worker among European immigrants at Montreal. She left this post four years ago to work among the Japanese on the coast. She was in this field at Steveston for two years before leaving on furlough and many remember her as one of the most ardent of missionary women.

Mr. Yamazaki who for private reasons relinquished the principalship, is expected to return to the post in the not too distant future.

Chosen English Air Announcer

TOKIO.—Yurie Taji, who was formerly on the staff of the Japan Advertiser, was recently appointed announcer by station JFAK at Taihoku, Formosa, for its new service in English.

ALL-STARS STOPPED ROYSTON TEAM 4-3

The Japanese Baseball League All-Stars defeated Royston 4-3 last Saturday afternoon at Powell ground. The batteries for the teams were: All-Stars—Jimmy Fukui and Ken Kutsukake. Royston—T. Iwasa and M. Kumabe.

Table League Meet Postponed

The meeting of representatives of clubs which will enter teams in the Japanese Table Tennis League, which was announced as taking place on Saturday night, has been postponed to a later date, as it is thought too early to lay definite plans.

Table tennis players may be assured that the league will be operating not later than the middle of October.

Clubs which have agreed to enter teams so far are Mikado, Hompa, Tairiku, Kitsilano, Fairview and Gakuyukai.

Other organizations which may be interested in entering a team are asked to get in touch with Tairiku Nippo English section.

AUBURN BEATS W.R. FOR LABOR DAY TITLE

SEATTLE (CNP).—With a surprise 3-2 win over Portland to start out, Auburn went on to win the abor Day Yukyu Kyokai baseball tournament, held Sunday and Monday. In the finals Auburn downed White River 14-11.

The Tairiku English section appears three times a week, on Tuesday, Thursday and Saturday. News must be in our hands on the day previous to publication and not later than 2 o'clock.

Victoria Vice-Prexy JCCL Visits Here

Sam Okamoto, vice-president of the Victoria Chapter J.C.C.L., was a visitor in Vancouver over the Labor Day week-end. He interviewed Dr. Edward C. Banno, president of the local chapter, to discuss the possibilities of a fall convention which was favored at the Island Convention at Victoria.

GAKUYUKAI EXECUTIVE MEET TOMORROW NIGHT

An executive of the Gakuyukai will be held at the Japanese school tomorrow night, 7.30 p.m.

Prince Chichibu Tours Germany

BERLIN.—Prince Chichibu, eldest brother of the Tenno, was to have arrived at Dusseldorf, Germany, yesterday for a tour of the country until September 13, it was announced here today.

Kusaka Leaves Sunday At 6 p.m.

Shuichi Kusaka is leaving Vancouver, Sunday, Sept. 12, at 6 p.m. from the Great Northern depot. He will travel via Everett and Chicago to Boston.

TOKIO.—Shinjyu Honda, 33, an official of the Finance Ministry, was reported as the winner of a military song contest which closed in August. His song was entitled "Song of Marching Soldiers."

Japan's Boxing Champ In U.S.

(By Coast Nisei Press)

LOS ANGELES.—Kaio Gen, hailed as the Nipponese champion, arrived here on Sunday on the *Tatsuta Maru* for a ring campaign under Jess Cortez, veteran fight manager.

Gen, who has battled Joe Tei Ken and Piston Horiguchi several times in Tokio, will battle in either the featherweight or bantamweight classes.

The doughy Nipponese rangman was recommended to the Pacific Coast by Y. Watanabe, father of boxing in Nippon, and is the first bona-fide Nipponese battler to invade the Pacific Coast.

Cortez was confident that his charge would be a sensation, as Gen already has a nod over Tei Ken, but dropped a torrid 12-round decision to Horiguchi just before he came over.

Sr. Y.P. To Welcome Miss Hyodo Sun.

Senior Y.P. will welcome back Miss Hide Hyodo at a meeting to be held in the Gym parlor this coming Sunday at 7.30 p.m.

The Y.P. magazines are to be distributed on this night.

Movie About Nippon Revised

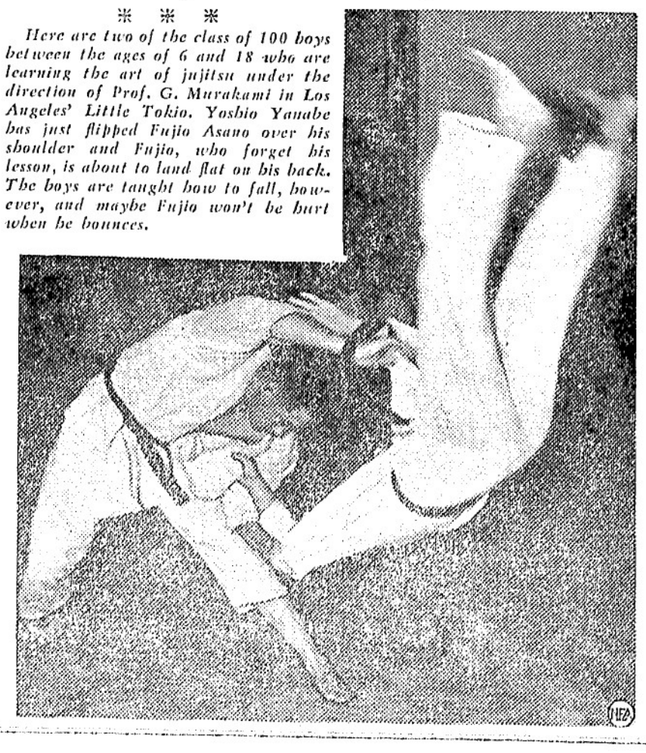
TOKIO. — After several revisions have been made, "Modern Nippon," the film which caused sensational arguments among the critics when it was first shown here, will be exported to foreign countries in October.

The film was produced by Tsuguji Foujita, well-known oil painter, at the request of the International Movie Association, to introduce Japanese manners and customs abroad.

Japan's Manly Art

* * *

Here are two of the class of 100 boys between the ages of 6 and 18 who are learning the art of jujitsu under the direction of Prof. G. Murakami in Los Angeles' Little Tokio. Yoshio Yanabe has just flipped Fujio Asano over his shoulder and Fujio, who forget his lesson, is about to land flat on his back. The boys are taught how to fall, however, and maybe Fujio won't be hurt when he bounces.



Remington Rand Typewriters

* * *

Priced from $45.00 for Junior Model and ONLY $80.00 for latest NOISELESS Model

* * *

TAIRIKU NIPPO SHA Ltd (PRINTING DEPT)

紙はり

數年の經驗を以て美麗に敗落しも完全に塗り理想的粘度强き良質の糊を用ひ丸で安價に致します

御結婚式ベール及髪飾無料御披露用儀式用日本振袖

遠近に拘はらず出張いたします

オイルパーマネントウエーヴ

最新式パーマネントウエーヴ

御結婚式ベール、髪飾等は無料でサービス

御披露用日本着物お貸しします

花嫁樣の御支度

オイルパーマネントウエーヴ美容術

晩市メイスター映畫館隣三街三二二

結髪儀式用髪飾及ベール無料でお貸します

和洋結髪儀式用衣裳鬘甲髪飾ツノカクシお貸します

洋髪用ベール髪飾無料です

十數年の經驗ありオイルパーマネント